

# 新 消防長・消防団長 ご紹介

宇和島市消防団長



稲垣 聖治

この度、宇和島市消防団長を拝命いたしました。稲垣聖治です。近年目立った災害のなかった宇和島市にとって、昨年の西日本豪雨は、大きな衝撃でした。災害の無いことが一番の願いではありますが、いざというときに市民の皆様への期待に応えられる消防団を目指したいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

西条市消防本部消防長



近藤 正紹

4月1日付けをもちまして、西条市消防長を拝命しました近藤正紹です。住民の生命・身体・財産を守るという消防の責務を全うするため、職員一丸となって職務に精励し最善を尽くす所存でございます。今後ともご支援・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

伊予市消防団長



松下 豊繁

この度、平成31年4月1日付けをもちまして、伊予市消防団長を命ぜられました松下豊繁でございます。近年の自然災害から消防団の役割・任務は一層重要となり、市民の期待は益々高まっております。この期待に応えるべく、地域防災の要であることを自覚し、地域の安心・安全を守るよう消防団の活性化に努めて参る所存であります。今後とも、関係各位のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

久万高原町消防本部消防長



高野 貢

4月1日付けをもちまして、久万高原町消防長を拝命しました高野貢です。近年、多様化している災害への対応を地域防災力の要である消防団・自主防災組織並びに関係機関の皆様との連携強化を図り、住民が安心安全に暮らせる町づくりを目指していく所存でございます。今後ともご支援・協力を賜りますようお願い申し上げます。

伊方町消防団長



兵頭 秀

この度、4月1日付けで、伊方町消防団長を拝命しました兵頭秀です。「自分たちの地域は自分たちで守る」という消防団精神のもと、常備消防、自主防災組織との連携を密にし、地域住民の皆様への負担に応えるため、連携して参ります。関係機関の皆様には、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

愛南町消防本部消防長



松本 正人

この度、4月1日付けをもちまして、愛南町消防長を拝命いたしました松本正人です。地域防災力向上のため、消防団・自主防災会並びに関係機関との連携をさらに強化し、安心で安全な町づくりのため、職員一丸となって邁進していく所存でございます。今後ともご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

鬼北町消防団長



渡辺 正弘

この度、4月1日付けをもちまして、鬼北町消防団長に就任いたしました。近年多様化する自然災害等に対応するため各機関と連携を密にし、また消防団相互の結束を図り、災害を最小限に抑えられるよう、地域住民の安全安心のために尽力してまいります。今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

宇和島地区広域事務組合消防本部消防長



織田 英

4月1日付けをもちまして、宇和島地区広域事務組合消防長に就任いたしました織田英です。使命の大きさと責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。地域住民の安全・安心のため消防行政の推進に全力を尽くす所存であります。今後とも各方面の皆様から、これまで以上のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

八幡浜地区施設事務組合消防本部消防長



兵藤 貞樹

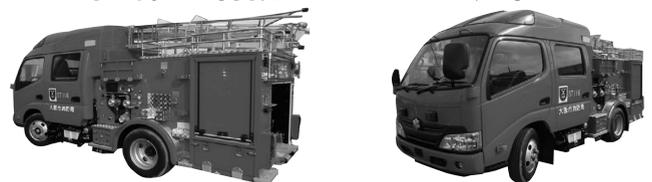
4月1日付けをもちまして消防長に就任いたしました。近年、災害は大規模化・多様化しており、消防に寄せる住民の期待は益々大きくなっております。そのような状況に対応するため、消防団・自主防災組織・関係機関とより一層の連携を図り、地域防災力の向上に努めてまいります。今後ともご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



発行人  
公益財団法人 愛媛県消防協会  
松山市築山町1番35号  
電話(921)8517番  
会長 土居 敏夫  
一部52円

二〇一九年度全国統一防火標語  
ひとつずついいね！で確認  
火の用心

<http://www.ogawa-pump.co.jp>  
OGAWA 仕様 消防ポンプ自動車(Made In 愛媛)



豊富な収納力が1台2役分の活躍を。  
多くの資機材を積み込みながらも、初期消火に力を発揮する水槽を搭載。  
コンパクトにまとめたCD-I

小川ポンプ工業株式会社  
愛媛支社

〒790-0045 松山市余戸中6丁目9番52号  
TEL: 089-972-2392 FAX: 089-972-2400  
E-mail: ehime@ogawa-pump.co.jp

扱いやすさと  
タフな空冷エンジンを採用

空冷式消防ポンプ  
FT500 B-2級  
FT450 B-3級



Fi(電子制御燃料噴射)に間接水冷ラジエータを搭載

水冷Fi式消防ポンプ  
FF500ZXi B-2級  
FF450ZXi B-3級



操法で活躍!

信頼と実績のキャブレタシリーズ  
水冷式消防ポンプ  
FK500 B-2級  
FK450 B-3級  
FK400 B-3級



シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店  
(有)愛媛芝浦ポンプ商会  
TEL.089-933-6355 FAX.089-933-9550  
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号

# 第45回 消防団幹部特別研修に参加して



大洲市消防団  
副団長 岩田 清一

まだ正月気分も冷めやらぬ1月15日に、東京虎ノ門にある日本消防会館へ出発した。受付を済ませ席に座ると、互いに初対面からくる緊張感が会場全体を包んでいた。開講式が終わり、研修は日本消防協会秋本会長の講話から始まった。相変わらずの緊張感が漂っていたが、会長自ら各地の災害にあった研修生に声をかける事で緊張感が和らぎ、これから三泊四日の研修に臨む意欲で研修生が一体となっていた。

私にも西日本豪雨対応の労いを頂いた。また、会長のお母上が津島町の出身であり、会長自身が幼少の頃、津島町の小川で遊んだ事を話され、南予出身の私として親近感が湧いたのを憶えている。

二日目に入り、午前中は東京消防庁第二消防方面本部消防救助機動部隊を視察した。さすがに全国的な消防災害救助隊である。近々の災害対応実績の説明を受け、その士気の高さと装備には驚かされた。

午後から三日目にかけて気象、危機管理、地震災害、惨事ストレス等の消防団員として必須の知識を学んだ。特に惨事ストレスについては、事前に知識習得していればいざ有事の際には精神的ダメージが少なくなるだろうと感じた。

最終日にはテーマ毎に集まる班別実習のまとめに入った。我が班は「大規模災害時における現場活動の問題点と団員の安全対策について」を選択した。メンバーには、西日本豪雨を経験した私に加え、阪神淡路大震災の復旧作業に奔走した人もいた。指揮命令、及び情報連絡系統の機能不全、災害や状況によって活動優先順位が変わる等の問題点が指摘されたが、次の2点にまとめ発表した。

- ① 大規模災害に対するイメージを持つこと(立地、地形、種類)
- ② 自助、共助、公助が基本であること

最後に、これからの災害に対する予防及び対応には、其々の専門家が団員に居る事が必要であると秋本会長は説く。例えば、豪雨時に土砂崩れにより流れた流木が川を堰き止め、「ダム化」し、被害を拡大する。それを予防する為に専門家に より山林を適切に間伐管理する事が必要であるという。

密集市街地大火、従来とは異なる進路で襲ってくる台風、局地的な集中豪雨等、災害の大規模化、被害の激甚化がみられるようになった今、上述した専門家を配する様な組織、消防防災体制の整備充実、消防活動に関する技術技能伝承等、消防総合力の向上が重要になってくる。その為に、微力ながら一助になりたい。



# 第18回消防団幹部候補中央特別研修に参加して



伊予市消防団  
福井 純

平成31年1月30日から2月1日の2泊3日、日本消防会館において、第18回消防団幹部候補中央特別研修に参加し、各都道府県から推薦された141名の消防団幹部候補生が、「災害の特徴と防災」、「危機管理」など、聴講及課題討議を行い、消防団活動事例として、平成30年7月豪雨での岐阜県関市消防団の活動事例を拝聴いたしました。

岐阜県関市消防団は、市内を23分団で管轄し、消防団員1152名で関市の安心安全を担っており、先日の西日本豪雨では、市内の津保川が氾濫し、死者1名、929棟の住宅が被災し甚大な被害に遭われました。

大雨警報発令後、全分団に詰所待機を命じ臨戦態勢を取っていたにも関わらず、死者1名を出したことは、痛恨の極みと言っておられました。警報解除の後には、被災建物の片付けやインフラ整備等の復旧など、多岐にわたり、地域に根ざした消防団ならではの活動を行い、市民から数多くのお礼が寄せられ、それが励みになったとお聞きしました。

また、課題討議では、若年層の団員確保についても意見交換を行い、若い消防団員の確保にとっても苦労していると、どの消防団も同じであることを認識いたしました。

来るべき災害に備え、災害に強い地域を目指したいと強く感じました。

本研修会に参加させていただいたことに対し、心より感謝いたします。



第45回消防団幹部特別研修 施設見学  
消防庁危機管理センター(霞が関2-1-2)にて



新居浜市消防団  
高津分団  
藤田 大輔

この度、新居浜市消防団本部より、第18回消防団幹部候補中央特別研修への参加依頼を受け、平成31年1月30日から2月1日までの3日間、東京都港区にある日本消防協会にて、第18回消防団幹部候補中央特別研修を受講してまいりました。この研修会には、各都道府県から141名が集まり、講話及びグループ討議などが行われました。

研修初日は、団員から分団長までの様々な階級で、初対面同士であったこともあり、会話も少なきちなかつたことを思い出します。開講式の後、日本消防協会秋本会長から講話があり、自分が所属する消防団と照らし合わせながら拝聴しました。その後、1班から10班に分かれてグループ討議が行われ、「若年層の団員確保対策について」14名で各所属分団の現状等について課題を出し合うなど意見討議を行いました。

- ・ 家族、会社等の理解が得られない
- ・ 印象が悪い
- ・ 訓練が大変
- ・ 活動内容がわからない
- ・ 対策
- ・ マスコミやSNS等を活用し、消防団活動をPR
- ・ 若者の興味を引くイベントなどを開催
- ・ 保育園、小中学校に対してPR
- ・ その他、各分団での活動内容を発表しました。

今回の研修で学んだことを活かして、今後発生が危惧されております南海トラフ大地震に備え、常備消防と消防団との連携、訓練をはじめ、団員の意識と知識の向上を図り、常備消防と消防団の連携強化を進め、地域住民との連携を深めていきたいと思っております。

また、研修で学んだ知識と、日本消防協会秋本会長のお言葉を胸に邁進し、今後も地域住民の安全な生活、財産を守るため頑張っていきたいと思っております。

最後に、私にとって、全国の同士との名刺交換や意見交換が行えたことは、今後の消防団活動にとって貴重な財産になりました。今回このような研修に参加させていただき、関係者の方々に感謝するとともに、自分自身も消防団員として、地域住民の方々の役に立てるよう、研修で学んだことを今後の消防団活動に活かしていきたいと思っております。

貴重な経験をさせていただき心から感謝いたします。



松野町消防団  
第3分団第1部  
竹内 力

平成31年1月30日(2月1日)に開催された第18回消防団幹部候補中央特別研修では、全国各地から参加した消防団員及び消防局職員がグループに分かれて研修を行いました。自分の班は、長崎県、宮崎県、奈良県、三重県など、消防局職員、消防団部長をはじめとする14人で、3日間の研修の中では「訓練のあり方について」のテーマでグループ討議も行いました。

最初はぎこちなかったみんなも、「たけうちりき」という私の名前をきっかけに、すっかり打ち解け(いじられ?)ることができ、楽しく3日間を過ごせました!(親に感謝!!)

特に印象に残っていることでは、You Tubeにもアップされている長崎県の訓練で、サイレンを鳴らしながら街中を走行するなど、本番に近い状態で行われていることでした。その他にも、消防団のアピールや団員募集のアピールなども載せられており、たくさんの人に見てもらいたいと思いました。

他にも、三重県鈴鹿市ではバイクレーサーがバイク隊となり、現場までの最速でいけるように工夫がされているなど、各地の地域色のある色々な工夫がされていることを知ることができました。

今回は宿泊を伴う研修でしたので、昼の研修では話せないことなども夜の研修(?)で深めることができ、研修後も班でLINEグループをつくり、それぞれ地域の消防出初式の情報から郷土料理や地元名産のお勧めのお酒の情報などが今でも飛び交っています。住んでいる場所も年齢も違うみんなと一緒に研修できたことで、自分が知らない情報や聞いてモノにしたいというところもたくさん得られるようになり、今後の消防団の活動にも積極的に活かしていきたいと思っております。



JAPAN FIRE CORPS  
Team 6

# 女性消防団だより



東温市消防団  
本部女性班

班長 白戸 真由美  
しらと まゆみ

東温市消防団女性班は18名で活動しています。発足当初は30代から40代の主婦がほとんどでしたが、現在は20代の独身の方や子育て真っ最中の方も加わり、ますます活気に溢れています。

活動内容は普通救命講習の指導や消防団員加入促進の活動が主体となっていますが、その他にも消防イベントのお手伝いなどしています。ここ数年は、救急の日イベントで各ブースでのお手伝いや子供向けの寸劇に出演したりと、私たちが楽しみながら参加させていただいています。

消防出初式や防火啓発活動、年末夜警も大事な活動として参加しています。特に出初式では、受付やアナウンスなどを女性消防団員が担当しています。以前は「アナウンスやってくれん？」とお願ひしても「そんな難しいことできんけん」と断られることも多かったのですが、今は、「私、アナウンスやってもいいですよ」「アナウンスは無理やけど、表彰の手伝いならできよ」と積極的に役割を引き受けてくれるようになり、長年の活動を通じて団結力も強まってきたように思います。

さて、昨今は全国各地で大きな災害が起こり、その度に心を痛めております。それとともに、もし自分が災害に直面したら、消防団員として適切な行動ができるだろうか？と考えさせられます。

実は、平成28年の鳥取中部地震のときの事ですが、仕事中に携帯電話の地震速報が鳴ったときは、居合わせた人々と顔を見合わせ驚いただけでした。幸いなことに揺れもほとんど無かったのですが、消防団員として危機感をもって安全確保と避難誘導を率先してするべきだったと思います。

近い将来に起こるとされている南海トラフ地震の確率も上がってきています。今後は地域住民皆さんの安心と安全を守るためにも、大規模災害時に備えた訓練活動も行っていければと思います。



# 一般住民の防災活動等



四国中央市  
金生公民館  
館長 石川 末吉  
いしかわ すえよし

## 金生少年消防クラブについて

平成の時代に移り、全国各地で甚大な被害をもたらす災害が多く発生し、防災について関心が高まっている中、地域において少年消防クラブが活動を行っているところは、県下でも数少ないものと思います。

私の町の「金生少年消防クラブ」は、昭和34年、当時6代目の金生公民館長であった角川氏の呼びかけにより、公民館事業の一環として、将来の地域防災を担う人材を育成する目的で結成されました。現在、この消防クラブは金生町内にある2つの小学校5年生児童82名により構成されています。

この少年消防クラブの原点は、私が小学校6年生のとき、「金一小防火隊」として発足したのが始まりで、当時の活動といえば、各地域の子ども会ごとに、冬休みの夜間に高学年の児童数名が集まって、拍子木を手を持ち「火の用心、マッチ一本火事のもと」と叫びながら自分たちの地域を巡回したものでありました。その中で、自分たちも消防団員の一人として仲間入りできたことに、ちよっぴり誇りを感じながら楽しく巡回したことを思い出します。

本少年消防クラブも発足以来今年で60年目の節目を迎えます。現在の主な活動内容は夏休みに多発する児童の水難事故防止対策として、消防本部救助隊に指導を仰ぎ、夏休み前に小学校のプールを借りて、着衣水泳訓練を実施しています。この訓練では万が一水難事故に遭遇した場合に、大声で近くの人を呼ぶこと、そして自分が水難にあった時は慌てず冷静に適切な対処ができるように学習しています。まずは「自分の命は自分で守る」を基本として、人の命の尊さを学ぶための学習の場ともなっています。

少年消防クラブでは、このような講習を年1回ではあります地道に実施し、水難、災害に対する貴重な体験をしています。寺田寅彦氏が発した「天災は忘れた頃にやってくる」の言葉にもあるように、常に防災に対する備えを怠らず、伝統ある金生少年消防クラブの教訓が、未来永劫この地域を担う子どもたちに伝承されていくことを願います。

# 令和元年

スタート！ 書：西条市消防本部 高橋浩三氏

4月1日「平成」に代わる新元号が「令和（れいわ）」と発表された。5月1日午前0時に施行される。典拠 万葉集  
「初春令月 氣淑風和 梅披鏡前之粉 蘭薫珮後之香」（初春の令月にして、氣淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を吹き、蘭は珮後の香を薫らす。）

新しい時代が、みなさまにとって幸せなものでありますように



## 災害に強いまちづくりをお手伝いします

### 家庭用からプロ仕様まで 消防・防災の専門商社

- 消防ポンプ自動車
- 消防ホース
- 防災・救助機器
- 避難用品
- 小型動力ポンプ
- 消防被服
- 消火器・消火装置
- 自主防災・企業防災用品



人と地球のいのちを守る  
**MORITA**  
株式会社モリタ  
消防ポンプ自動車No.1メーカー

新基準活動服  
新基準による  
消防団員活動服

**SHIBaura**  
消防ポンプ・防災機器  
シバウラ可搬消防ポンプ

ジェットホース  
操作大会最適ホース  
コンペVシリーズ

**(株)岩本商会** 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116  
高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫 http://www.iwamotosyoukai.co.jp

- 点検・報告・整備・工事
  - 消防用設備等・特殊消防用設備等
  - 防火対象物点検・防災管理点検
  - 防火設備点検
  - 連結送水管の配管耐圧試験
  - 消防用ホース耐圧試験
- 消防用機器等の販売
  - 各種消火器
  - 住宅用火災警報器
  - その他各種防災用品
  - 消防ポンプ自動車

～高度な技術で安心をお届けする～

**株式会社 四国消防**

〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号  
電話 (089)934-4800  
FAX (089)934-5533  
E-mail: yons@ss4800.jp

# 支部だより

## 一年を振り返って感じることに 多くの方に感謝



内子町消防団  
団長 篠崎 耕太郎  
しのかき こうたろう



消防団長に就任し1年が経ちますが、私が経験した事柄について所感を述べさせていただきます。

### (1) 平成30年7月豪雨災害対応

内子町は、幸いにも人的被害は無かったものの、山間部を中心に生活道路や橋の流失、河川の氾濫や土砂崩れ等大きな被害を受けました。団においては、2日間延べ1046人の団員が出動、積み土の工や住民の避難誘導、河川越水等による地域・橋の通行止めの実施等水防活動を行いました。被害の軽減に貢献したと云うことで、先般2月13日国土交通省にて、「水防功労者国土交通大臣表彰」を頂きました。今回の表彰は、団員一人一人の献身的な活動の賜物であり、勇気ある行動に感謝致します。

### (2) 各種行事対応

災害により、計画していた行事の多くが中止となるなか、「自治体消防設立70周年記念活動推進大会」は12月16日に実施され、内子町も25名で参加しました。生憎の空模様でしたが、有意義な時を過ごせました。開会式では、当町ラッパ隊が出場し、ファンファーレの演奏など、会場を盛り上げてくれ心より感謝、内子町の誇りであります。

### (3) ポンプ操法関係

平成30年度は、ポンプ操法大会の年にあたり、大洲喜多消防団連合会においては、6月3日に地区大会を実施しましたが、豪雨災害により県大会は中止、やむなく抽選となり、愛南町消防団が全国大会(小型ポンプの部)へ出場、タイム43・52秒、得点は80点と聞き、日頃の成果を十分に発揮され、好成績にお祝いと感謝を申しあげます。

### (4) 防災士について

私は、昨年6月末で退職し、時間に余裕が出来た切っ掛けもあり、以前より関心のあった防災士養成講座を受講しました。昨年の県消防大会にて、中村知事からの挨拶の中に、愛媛県の防災士の数は、東京都に次いで、全国2位である旨、また、3月11日愛媛新聞には、県内には有資格者が約一万二千人で「目指せ全国一位」「備えること＝命を守ること」と大きく掲載されました。災害時は、まず自分の命を守ること(自助)から始まります。県下消防団員の皆さん、そのための一歩として勉強してみたいかがでしょうか。最後にありますが、本年は県下全地域で災害の無い年となりますよう祈念致します。



# 第18回消防団幹部候補中央特別研修に参加して



団員 長谷 有希  
はせ ゆき



団員 原山 美咲  
はらやま みさき



平成31年2月13日から15日まで、第18回消防団幹部候補中央特別研修に参加させていただきました。ピシッと制服に身を包んだ女性消防団員が94名も揃っている光景は圧巻でした。

研修では、3日間を通して各班に分かれ、課題研究を行いました。私たちの班の研究課題は、女性消防団員の確保対策についてでした。どの地域でも女性団員の確保が難しいという現状は変わりませんが、意見交換の中で、地域によって女性団員の役割や活動内容に違いがあることがわかりました。一口に女性消防団員と言っても、いろいろな形があります。女性だけで構成され、現場には直接関わらない女性部、男性と同じ分団に所属し、現場でも男性と同等に活動する女性団員もいます。求める役割に違いはありますが、どちらにしても共通して言えることは、自分たちの役割、活動内容をしっかりと周知し、理解してもらうことが大切であるとの意見で一致しました。

課題研究の合間に、女性消防団員の活動についてや、地域防災についての講義も受けました。その中で特に印象に残ったのは、「自助・共助」の大切さについてです。

行政に依存しがちな住民から自助と共助をどう引き出すか。これは、私自身、耳が痛い話でした。心のどこかで消防団員ではあるけれど、実際の災害現場では役に立たないと思っていました。でも今は違います。女性にしか気づけないこと、できないことが沢山あることを学びました。「自分の命は自分で守る」という「自助」の意識を高め、それを地域へ広げ、「地域で助け合う」という「共助」の精神へと繋げる懸け橋になりたいと思います。

東京消防庁本所防災館では防災体験ツアーへ参加しました。都市型水害体験コーナーでは、浸水したドアの開放体験に挑戦しました。力にはかなり自信があったので、30センチの浸水にチャレンジ。しかし、渾身の力を込めてもピクともしないドアに災害の恐ろしさを改めて認識しました。知識だけでなく、体験を通じて災害について学ぶことは実際に被災した時の自助、共助にとっても役立つと感じました。

3日間という短い期間でしたが、参加した全国各地の消防団員と活動内容や取り組みについて意見を交わすことで、交流も深まり、今後も継続して情報交換しあえる人脈が出来上がりました。このような貴重な研修に参加する機会を与えて頂きありがとうございます。



各種消防ポンプ車  
防災用品  
各種消火設備  
販売

消防防災設備  
給排水設備  
設計・施工・保守

# 新日本フック

株式会社ナカムラ  
消防化学代理店

ヤマトプロテック  
株式会社代理店

http://www.sn-ft.com

南予営業所  
〒796-0201 愛媛県八幡浜市保内町川之石1-237-130  
tel.0894-36-3322 fax.0894-36-3323

本社  
〒790-0054 愛媛県松山市空港通2丁目18番32号  
tel.089-908-5766 fax.089-908-5767

# 最強コンビ

# ポンプ操法

トーハツ VCPROIII

キンパイスーパーランナーホース

株式会社 ヤマダ 1910年創業

愛媛県イメージアップキャラクター  
許認可番号 2805024 みきやん

<p>小型消防ポンプVFシリーズ 電子制御 燃料噴射装置</p>	<p>株式会社 吉谷機械製作所 消防ポンプ自動車 化学消防自動車</p>	<p>テイセン テイセン救助工作車 キンパイ消防ホース</p>	<p>ヤマトプロテック 粉末(ABC) 消火器</p>
--------------------------------------	--	---	---------------------------------

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号  
TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp